

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和4年（2022年）12月6日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名）阪西 敏

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	まちづくり協議会コミュニティ末広
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 (3) 賑わい・交流のまちづくり
	【具体的な取り組み】 3 事業所の空きスペースや空き家を活用した地域の集いの場の検討 4 伊子志会館の改修・新たな活用の検討
取組内容の関係課	

2 対話の状況

<p>(1) 実施概要</p>
<p>ア 日時： 令和4年（2022年）11月24日（木） メールにて推進シートの提出 令和4年（2022年）12月6日（火） 午前10時10分～11時 対話</p> <p>イ 場所： 宝塚市庁舎内</p> <p>ウ 出席者： 以下のとおり 12月6日（火） ＜まちづくり協議会＞ ● ＜協働の取組推進担当次長＞ 前田・安心ネットワーク推進室長 ＜市民協働推進課＞ 阪西職員</p>
<p>(2) 確認できたこと</p>
<p>コミュニティ末広から11月24日に推進シートの提出があった2項目について、地域の思いを●から市職員が聴き取り。</p> <p>「3 事業所の空きスペースや空き家を活用した地域の集いの場の検討」 (1) 不動産取引会社の「株式会社ウィル」が、最近、商業施設「アピア3」を取得。宝塚市に新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として無償貸与したり、地域のイベントに一部の床を貸し出しするなどの還元をしてくれている。 コミュニティ末広としても一部を借りられないかと考えている。</p> <p>(2) 例えば、夏休み等の長期休業期間中に、小・中学生が集まって一緒に宿題を勉強するような場所がないか、探している。</p> <p>(3) 宝塚市助産師会の協力で、伊子志3丁目に「NPO法人ほっと宝塚子育てネットワーク」が「ほっとサロン」を開設している。 この施設との連携なども考慮できるかとも考えている。</p> <p>(4) 空き家の活用についても考えていたが、豊田代表自身が「宝塚市空家等対策協議会」の委員をしていた経験からは、北部西谷地域はともかく、不動産会社との兼ね合いから南部市街地では難しいと考えている。</p> <p>以上のような見解を述べられました。 現時点では、地域内で候補地の選定と交渉を試みる予定とのこと。 また、交渉にあたっては、貸与者の示す諸条件（貸与日時、貸与料金等）を確認するとのことです。</p> <p>「4 伊子志会館の改修・新たな活用の検討」 この項目については、積極的に行政に要望する意図だったが、担当部署である市民協働推進課から得た情報から判断して、推進シートに書いた通り、現時点の結論として、伊子志会館の改修・新たな活用は中止することとした、とのこと。 ただ、将来、同会館の大規模改修等を行う状況になった際には、アスベスト除去等の上で、改めて同会館の活用を求めたい。</p>